

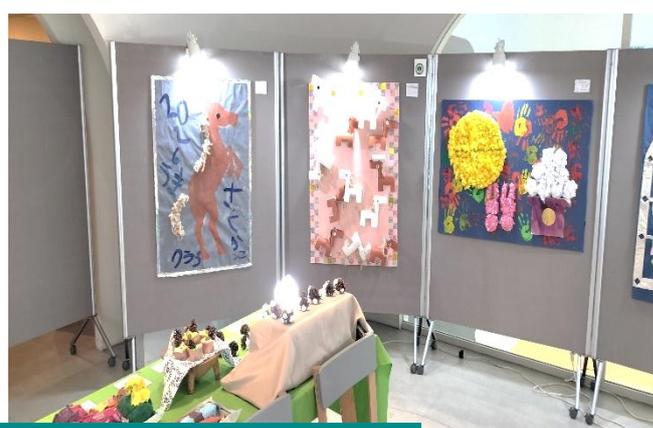
SSKS

2026. 3月号

No. 584

せんかわだより

～あるがままに あたりまえに～



せんかわアート展2026にようこそ



今年も、武蔵野プレイスギャラリーにて「せんかわアート展」を開催しました。毎年恒例となっている当法人主催のアート展です。アート活動を行なっている事業所はもちろんのこと、B型事業所からの応募作品も多くあります。

作品を応募する方も、観覧にいらっしゃる方も楽しむことができるよう、せんかわアート展を続けていきます。



社会福祉法人 武蔵野千川福祉会

<http://www.musashino-senkawa.com>



自分らしく、日々の生活を充実させるために

～暮らしさがひろがる表現の世界へ～

今年で10年目となった「せんかわアート展」。今回も武蔵野プレイスギャラリーとホームページの両方で開催し、会場にお越しいただけない場合でも、ホームページから作品をご覧いただけるようにしました。会場展示は、2日間の合計で約240名の方にご来場いただきました。ホームページでは2月28日まで開催し、現在までに延べ170名の方に作品を閲覧していただいています。

毎年恒例となっているアート展ですが、今年は法人内のさまざまな事業所から作品が集まりました。就労継続支援B型事業所、生活介護事業所、児童発達支援事業所に加え、今回は共同生活援助事業所（グループホーム）からも作品応募がありました。ホームページと会場を合わせて、130作品を展示しました。今号では、作品を出品してくれた利用者の制作エピソードをご紹介します。

せんかわアート展に向けて

八幡作業所のAさんとBさんは毎年、せんかわアート展に向けて、時間をかけて作品づくりにとりこんでいます。

Aさんは2点の作品を出品しました。1点目は自分で作った料理レシピをテーマにした「ガトーショコラの作り方」という作品です。ガトーショコラに必要な材料を選んで買い物し、調理をする様子が細かく描かれています。買い物に行く様子がていねいに描かれた場面では、家族との微笑ましい時間を過ごしていることを感じ取ることができ、Aさんの日常が目浮かびます。

2点目は「みんな集まれ」です。大好きなキャラクターをたくさん描いて、切り取り、大きな紙に貼り合わせた作品です。観ている人たちをワクワクした気持ちにさせてくれます。キャラクターの絵は写真を見ながら、線を確認し、納得いくまで何度も描き直すなど、1年をかけて作品を作り上げました。また、色付けには、単色では描けない色合いを職員に「なに色？」と確認して、微妙な色合いを重ねながら描いていきました。日々の休憩時間を使って、コツコツと完成させました。

Bさんは毎日、大きな袋にたくさん色鉛筆と紙を入れて、通所してきます。昼食後にはご自身のノートと色鉛筆を使って絵を描いて過ごしています。色の組み合わせをていねいに考えながら、季節感のある温かい作品に仕上げています。完成した絵を職員にプレゼントしてくれることもあり、その都度、周囲の利用者や職員の気持ちを明るく



【見本をみながらていねいに】



【仕事の合間をぬって制作に励みます】



【来年も出品します！】

し、自然と会話が生まれるきっかけにもなっています。制作途中には「これは？」と職員に相談する場面もあり、楽しみながら安心した雰囲気の中で、創作を続けています。

せんかわアート展が近づくと、細部まで気を配りながら、より集中してとりくむ姿が印象的でした。数力月前から「アート展に行きます」と開催を待ち遠しくしているBさん。当日は、会場に到着するとすぐにご自身の作品のもとへ向かい、優しい表情で「これ」と教えてくれました。自分の作品がたくさんの方に観ていただける、そして喜んでもらい、ほめていただくことができ、とても嬉しかった様子です。

また、当日はほかの方の出品作品をじっくりと鑑賞している姿も見られ、出展された沢山の作品は良い刺激となっているようです。来年の出展について尋ねると「もちろんです。」と力強く笑顔で答えてくれました。

すでに次回のアート展に向けて、新しい作品づくりを始めています。アート展は、一人ひとりが「自分らしさ」を表現できる場となっているのだと、あらためて感じることができました。

多くの応募作品を提供していただきました

昨年の12月に募集した応募作品は、前回の開催時よりも多い44作品の応募がありました。ホームページ上には応募のあったすべての作品を掲載することができました。毎年、個性的な作品や自分の好きな題材で制作した作品などの力作を提供いただき、「毎年を楽しみに作品を制作している」といった声も届いています。

アート展に来場いただいた方にはアンケートへの回答をお願いしていますが、今回は141名の方に回答いただくことができました。「とてもあたたかい気持ちになる作品が多いと思いました」「毎年楽しみにしています。みんなで力を合わせて作ると、すばらしい作品になるのですね」といった作品に対する感想や、「展示の仕方と作品名がセンス良くてスタッフさんすごいです」など実行委員へも感想をいただくことができました。地域の方からとても良い評価を得ることができたことを、利用者のみなさんにもお伝えするとともに、委員一同、今後の励みになりました。本当にありがとうございました。



【2026年1月千川アート展 ささまざまな作品と出会うことのできる時間です】

（文責：八幡作業所 菅野 いづみ／ななほしワークス 東 竜太郎）

オープンカレッジ東京

今年度第3回のオープンカレッジ東京（障害のある人の生涯学習）が3月8日（日）武蔵野市との共催により武蔵野スイング レインボーサロンで開催されます。

第1回は「旅行のお土産の選び方」。第2回は「駅弁の選び方」。今回の第3回は、「まとめの会」となっています。

自己選択・自己決定につながるように、身近にある題材を使い、楽しみながら検討して選択するという学びの機会としています。当法人からも数名の利用者や職員が参加しており、法人内での学びの活動などのとりくみに活かしています。



【とびっくす】～インスタだより vol.33～ #節分・豆まき～



武蔵野千川福祉会では、事業所それぞれの形で節分を楽しみました。

千川おひさま幼児教室には、鬼が来ました！
一瞬で表情が変わる子どもたち・・・怖がりながらも一生懸命に豆をぶつけて、鬼を追い出しました👹



今月の動向 ～令和8年2月～

- 2日(月) 地域自立支援協議会
- 4日(水) 常任理事会
- 8日(日) 生涯発達・地域生活支援研究会
- 9・10日(月・火) 共生シンフォニー様 訪問
- 10日(火) 親子ひろば
- 18日(水) 所長会議
- 19日(木) GH 学習会・生活介護学習会
- 24日(火) 常任理事会
- 28日(土) きょうされん東京支部実践交流会
in 多摩

来月の予定 ～令和8年3月～

- 3日(火) 常任理事会
- 4日(水) 幼児・児童学習会
- 5日(木) 学ぶ学習会、B型学習会
- 6日(金) 福祉・介護業界就職セミナー
- 8日(日) OCT 第3回講座
- 9日(月) 地域自立支援協議会全体会
- 10日(火) 親子ひろば
- 18日(水) 所長会議
- 23日(月) 常任理事会、地域自立支援協議会
- 28日(土) 年度末法人研修
- 31日(火) おひさま門出を祝う会



社会福祉法人 武蔵野千川福祉会

<http://www.musashino-senkawa.com>

<発行人> 特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会 東京都世田谷区祖師谷3-1-17-102 TEL 03(6277)9611

<編集人> 社会福祉法人 武蔵野千川福祉会 東京都武蔵野市境南町4-20-5 TEL 0422(30)0022 定価 50 円